

日本社会情報学会通信

Vol.23 No.3 2008.12.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

*本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

☆ JASI&JSIS 合同研究発表大会 研究発表募集について ☆

学術委員会 委員長 田中 秀幸

開催要項につきましては、改めて別途ご案内いたします。

研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

研究発表につきましては、大会終了後に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第11回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第9回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご参照下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

★JASI&JSIS 合同研究発表大会の開催要綱は現在検討中です。

決定後、下記の詳細をご案内いたします。

<JASI&JSIS 合同研究発表大会開催日、会場>

日 時： 平成21年9月11(金) -13日(日)

会 場： 新潟大学

詳細ご案内予定

*決定次第 学会ホームページに掲載 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>)

*2009年4月1日発行の学会通信に掲載

(本件に関する問合せ 学会事務局 TEL 0422-40-2062 / Mail jasi@jade.dti.ne.jp)

☆平成21年度・学会賞候補推薦について☆

平成21年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 島田 達己

<表彰候補者の推薦締め切り>

種 類	締 切 日	推薦要領掲載案内予定
大学院学位論文賞	21年4月10日（金）	学会通信 12/1、4/1 HP 2/末
優秀文献賞	21年5月22日（金）	学会通信 4/1 HP 2/末
優秀論文賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
論文奨励賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
学会功労賞	21年6月19日（金）	学会通信 4/1 HP 2/末
社会情報システム貢献賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
*「秋山穰賞」		別途選考要綱に基づく

*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

*各賞の推薦要領については、別途、学会通信（2009.4.1発行）および学会ホームページに掲載致します。

[功労選考委員会]

選考区分： ・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

選考区分： ・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表賞

※各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。

また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

（2月中旬以降）

平成20年12月1日

日本社会情報学会

第11回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 須藤 修

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成19年4月1日～平成20年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞（修士）
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成21年4月10日（金）＊必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編（論文のコピーで結構です）
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員（入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____
TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名]
大学 _____ 研究科
専攻

[学位取得日] _____ 年 _____ 月 _____ 日

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

☆ 理 事 会 報 告 ☆

【第3回理事会・第1回評議会報告】

日 時 平成20年9月13日(土) 12:45-13:20

会 場 東京大学(本郷キャンパス)赤門総合研究棟第12演習室

出席者 (順不同・敬称略) 27名

須藤、島田、廣松、福田、安藤、太田、岡田、尾関、木村、五藤、後藤、櫻井、佐藤、小豆川、田中、寺野、富山、平林、平野、前田、山本阿部、大澤、兼子、河又、林、和泉

議事内容

資料に基づき、廣松総務委員長より、平成21年度における理事選挙の説明があり、22年度新体制発足においては、22年4月1日発足を承認した。

資料に基づき、廣松総務委員長より、英文HP、情報の1ページ立ち上げの提案を承認した。入会7名、退会3名をそれぞれ承認した。資料に基づき、会員内訳、収支の報告があった。役員出張旅費については、継続審議事項となった。

資料に基づき、福田企画委員長より、第112回、113回定例研究会実施、第114回定例研究会企画、第1回企画委員会、今後の委員会活動の報告があった。

島田表彰委員長より、優秀論文賞および論文奨励賞の内規と扱いについて提案がなされ、それを承認した。

資料に基づき、山本学術委員長補佐より、第4回学術委員会の報告があった。

第2回大学院生研究発表大会と第1回チュートリアルは11月29日(土)学習院大学にて同日開催。

評議員5名を交え、学会運営における意見交換がなされた。

次回は12月5日(金)全国町村会館

理事会終了後、第53回情報政策研究会、情報交流会開催

☆ 研究会報告 ☆

●第 114 回定例研究会

日 時 10 月 7 日 (火) 16:00-17:30

会 場 豊洲センタービルアネックス 11F NTTデータプレゼンテーションルーム

テーマ ASP・SaaS ビジネス

講 演 「ASP・SaaS ビジネスの現状と ASP・SaaS 安全・信頼性情報開示認定制度について」
河合輝欣氏 (NPO 法人ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム会長)

●第 115 回定例研究会

日 時 11 月 15 日 (土) 13:00-15:00

会 場 東京大学駒場キャンパス・18 号館 4 階コラボレーションルーム

テーマ Wikipedia にみる集合知～その可能性と批判的検討～

講 演 「集合知と文化産業—ウィキペディアからの示唆」
渡辺智暁 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM))
「集合知、あるいは、新自由主義の文化的論理」
木村忠正 (東京大学)

●第 116 回定例研究会 (予定)

第 15 回社会情報システム学シンポジウム

日 時 1 月 23 日 (金) 13:00-15:00

会 場 電気通信大学情報システム学研究科棟

特別講演 「知識コミュニケーションの展望 (仮題)」

山本 修一郎 (株式会社NTTデータ技術開発本部システム科学研究所長)

第114回定例研究会
 参加者21名 (関係者6名)
 アンケート12通 (回収率80%)

参加者の属性

JASI会員	会員の紹介	講師の紹介	その他	回答無	TOTAL
3	6	1	1	1	12

1 講師は今回のテーマを論じるにふさわしい

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
8	3	1			12

2 今回の研究はテーマ・概要から期待したとおり

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
8	2		1	1	12

3 配布資料の内容・分量

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
6	1	4	1		12

4 登録受付・当日の受付などの研究会の運営は円滑

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
9	1	2			12

5 会場の環境(広さ、温度設定)

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
10	2				12

6 アクセス面

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
10	1		1		12

7 今後の参加

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
5	1	4	1	1	12

8 感想

講演の時間が分量に比して若干少なかったと思う。
 アクセス会場⇒都心へ。参加人数⇒内容からみてもったいない。質疑応答時間△
 ASP SaaSの歴史的経緯や課題(普及)を理解できた。
 講演中、参照しているPPTのページが大変前後していたので、ページを移動するたびに、
 何ページに飛んだのかを言っていたいただけと分かりやすい。
 聞きなれない言葉ではありましたが、今後の可能性を含め非常に興味深いお話を伺うことが
 できた。住民サービスにおける活用についても今後、期待したいと感じました。

9 全体の時間

長い	適当	短い	TOTAL
	11	1	12

☆ 今後のテーマ・意見

著作権分野
 住民サービスにおける様々なアウトソーシングの可能性
 ASP間の競争。大手IT企業はASPサービスの現状をどうみているか。

第115回定例研究会

参加者24名 (関係者7名)

アンケート18通 回収率 100%

参加者の属性

JASI会員	会員の紹介	講師の紹介	その他	回答無	TOTAL
13	3	1	1	0	18

1 講師は今回のテーマを論じるにふさわしい

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
17	1				18

2 今回の研究はテーマ・概要から期待したとおり

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
13	5				18

3 配布資料の内容・分量

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
11	6		1		18

4 登録受付・当日の受付などの研究会の運営は円滑

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
14	3	1			18

5 会場の環境(広さ、温度設定)

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
16	2				18

6 アクセス面

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
11	5	2			18

7 今後の参加

そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない	TOTAL
17	1				18

8 感想

- ・素晴らしいです。お一人2時間聞きたかったです。
- ・参加して良かったです。ウィキペディアとその仕組みに関するかなり良質な知識を得ることが出来た。感謝！
- ・時間は足りなかったが、配布資料がきちんとしているので問題はない！ 集合知の解説、素晴らしかった！
- ・質の高い発表でした。ありがとうございました。
- ・スムーズな運営だったと思います。ありがとうございました。
- ・木村先生の問題意識に非常に感心をもち、参考になりました。
- ・毎回、ご連絡を頂きありがとうございます。全てではありませんが、感心のあるテーマの時に今後、出席させていただきます。
- ・木村先生のお話は自分の研究と近いように思いましたので、今日は興味深く聞くことが出来ました。
- ・素晴らしい研究会で、フィットした講師の手配もご苦労に感謝します。

9 全体の時間

長い	適当	短い	TOTAL
1	15	2	18

☆ 今後のテーマ・意見

- ・ライフログの意義、課題
- ・Web2.0、著作権とその周辺、消費者行動との関連

☆ 委員会報告 ☆

●第2回企画委員会

日時 11月18日(土) 15:30-16:00

会場 東京大学駒場キャンパス・18号館4階コラボレーションルーム4

出席者 福田、木村、内藤、佐藤

議題

1. これまでの定例研究会の企画・運営について
2. 今年度のこれからの定例研究会開催について
3. その他

●平成20年度第5回学術委員会

<日時>平成20年9月29日(土) 18:30~

<会場>東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

<出席者> 五藤寿樹(日本橋大)、田中秀幸(東大)、桜井成一朗(明学院大)、
木村忠正(東大)、福田豊(電通大)、安藤明之(東経大)、
遠藤薫(学習院大)、岡田勇(創価大)、山本佳世子(電通大)[敬称略]

<議事>

1. 前回議事録の確認
2. 全国大会(田中委員)
3. チュートリアルおよび第2回大学院生研究発表会(山本委員)
4. 投稿論文に関する倫理のあり方、会員の研究者倫理のあり方についての研究会の設置(山本委員)
5. 大学院生研究発表会の継続開催(山本委員)
6. 学術論文の倫理規定(桜井委員)

●平成20年度第6回学術委員会

<日時>平成20年11月4日(火) 18:30~19:00

<会場>東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

<出席者> 遠藤薫(学習院大)、岡田勇(創価大)、木村忠正(東大)、
五藤寿樹(日本橋大)、桜井成一朗(明学院大)、田中秀幸(東大)、
山本佳世子(電通大)[敬称略]

<議事>

1. 前回議事録の確認
2. チュートリアルおよび第2回大学院生研究発表大会(山本委員)
3. 学術論文の倫理規定(田中委員)
4. 規則関連
5. その他

●平成20年度第7回学術委員会

<日時>平成20年11月25日(火)

<審議方法> メール審議

<議事>

メーリングリストを用いて、持ち回り開催し、以下のことを了承した。

1. 来年度の大会もJSISと合同で行うこととし、日程は2009年9月11日(金)、12日(土)及び13日(日)とする。
2. 合同大会に係る新潟市への補助金申請を了承する。

3. 留保条件として、上述の日程及び補助金申請は JSIS での 決定を前提とし、当該前提条件が成立しなければ白紙とする。
4. 上述 1～3 の内容を 2008 年 12 月 5 日（金）の JASI 理事会に学術委員会から提案する。

●第 2 回表彰委員会

日 時 平成 20 年 9 月 13 日（土）12:00-12:40

会 場 東京大学 赤門総合研究棟第 12 演習室

出席者 7 名（順不同）島田、太田、有馬、五藤、尾関、吉田、小豆川

議事内容

1. 資料に基づき、表彰委員会における表彰規則、選考要綱、運営細則、それぞれにおいて確認を行った。
2. 資料に基づき、太田委員より、優秀論文賞および論文奨励賞選定における文献論文選考委員会内規が提案され、内規 5 項すべてを承認した。付則については学会通信 23-3 にて告知を行う。
3. 資料に基づき、太田委員より、秋山譲賞における表彰規則および要綱の説明がなされ、それを確認した。
4. 太田委員より、大学院学位論文賞の表彰候補者推薦用紙〔様式-5〕での記載事項に「学位取得日」追加の提案がなされ、それを承認した。
5. 島田委員長より、有馬副委員長の提案がなされ、それを承認した。

☆ 日本社会情報学会 (JSIS&JASI) 合同研究発表大会報告 ☆

実行委員長

須藤 修 (東京大学)

平成20年9月12～14日に開催された大会は、受付参加者総数は約340名で、盛況のうちに幕を閉じました。基調講演および討論、一般研究報告(86件)、JASI・JSIS合同ワークショップ、ワークショップ(2件)、自治体ワークショップ、公開ワークショップ及び特別講演が3日に渡り開催されました。これもひとえに会員皆様の熱意の表れと存じ、深く感謝いたします。また、本大会にご協賛戴きました団体・企業の方々に心より御礼申し上げます。

【開催概要】

2008年日本社会情報学会(JSIS)(JASI)合同研究大会
統一テーマ「デジタル社会の課題に応える社会情報学」
開催日時 2008年9月12日(金)～14日(日)
開催校：東京大学本郷キャンパス

日本社会情報学会(JSIS&JASI)合同研究発表大会プログラム次第

第1日目：9月12日(金) 会場：赤門総合研究棟、経済学研究科棟

- 9:30 受付開始 (赤門総合研究棟1階玄関ホール)
- 10:00-12:00 情報学環共催WS「総合防災情報研究と事業・業務継続計画」
(赤門総合研究棟1階、7番教室)
- 13:00-15:00 自治体WS「自治体におけるSNS活用～その課題と展望～」
(赤門総合研究棟1階、7番教室)
- 15:15-16:15 特別講演「情報化社会におけるCSR」
講演者：有馬利男(富士ゼロックス相談役)
(経済学研究科棟地下1階、1番教室)
- 16:30-17:30(並行) 研究WS(1)
「社会情報基盤としての統計：統計法の改正」(赤門総合研究棟第12演習室)
- 16:30-17:30(並行) 研究WS(2)
「モバイルインターネット・地域情報・アーカイブ」
(赤門総合研究棟第13演習室)

第2日目：9月13日(土) 会場：赤門総合研究棟、経済学研究科棟

- 9:30 受付開始 (赤門総合研究棟1階玄関ホール)
- 10:00-11:30 自由報告部会 I (赤門総合研究棟)
- 11:45-13:45 JSIS総会、JASI/JSIS理事会、JASI評議員会、JASI委員会
- 14:00-15:00 基調講演(経済学研究科棟地下1階、1番教室)
講演者：長尾真(国立国会図書館長)
「デジタル・アーカイブの意義と課題」
- 15:30-17:30 シンポジウム(経済学研究科棟地下1階、1番教室)
テーマ：「リスク社会における社会情報学」
パネリスト：名和小太郎(情報セキュリティ大学院大学特別研究員)
正村俊之(東北大学大学院教授)
須藤修(東京大学大学院教授)
- 司会： 遠藤薫(学習院大学大学院教授)
- 17:30-17:45 JASI/JSIS表彰式(経済学研究科棟地下1階、1番教室)

■ 18:00- 懇親会 (情報学環福武ホール・ベルトレージュ)

第3日目：9月14日(日) 会場：赤門総合研究棟

- 9:30 受付開始 (赤門総合研究棟1階玄関ホール)
- 10:00-12:00 自由報告部会 II (赤門総合研究棟)
- 13:00-15:00 (並行) 自由報告部会 III (赤門総合研究棟)
- 13:00-15:00 (並行) 合同WS (赤門総合研究棟7番教室)
「社会情報からみる「地域」と「活性化」(仮)
- 15:15-17:15 自由報告部会 IV (赤門総合研究棟)

第2日目・第3日目 自由報告部会

★自由報告部会はすべて赤門総合研究棟演習室で行われます。各演習室は隣接しており、具体的な部屋割りは当日のプログラムでご確認願います。

■ 自由報告部会 I 9月13日(土) 10:00-11:30

I-1 学習・支援部会

「A Study of Remote IT Support by IT Volunteer Group for Senior Citizens」○周圀(名大) 横井茂樹(名大)

「シニア初心者のための文字強調シールと文字入力テキストを用いたパソコン文字入力学習」山内章恵(日立マネジメントパートナー) 横井茂樹(名大)

「パソコン操作支援ソフトウェアにおける中高年による「オンライン使い方相談」という試みー中高年相談員に着目してー」○森やす子(情報環境デザイン研究所) 藤村宣之(健康・生きがい開発財団) 江頭靖二(インテル)

I-2 地域構造変化部会

「経済的要因による少子化の地域格差に関する実証分析」○佐々木康成(秋田県大) 嶋崎真仁(秋田県大) 岸川善紀(秋田県大)

「産業構造の変遷から見た地域特性に関する研究」○岸川善紀(秋田県大) 嶋崎真仁(秋田県大)

「地域発の情報産業育成施策に関する調査研究ー産学連携に焦点をあててー」○嶋崎真仁(秋田県大) 岸川善紀(秋田県大) 能登谷淳一(秋田県大)

I-3 理論部会①

「インターフェイス再考：アラン・ケイ「イメージを操作してシンボルを作る」は何を意味するのか」水野勝仁(名大)

「情報による解釈の簡易化」石川真也(名大)

「情報社会における芸術作品とパラドクスの美学」秋庭史典(名大)

I-4 国際部会①

「On Digital Divide Indices」Kamila Kolpashnikova(東大)

「Socio-Cultural Risk Factors in Public Health Problems at Disaster Affected Area: A Case Study in Infectious Disease」○Agung Budi Sutiono(電通大/ハサンサディキンパジャジャラン大学病院) 諏訪博彦(電通大) 太田敏澄(電通大) Andri Qiantori(電通大)

「東アジアにおける海外直接投資とICT産業の域内貿易に関する分析」○劉昱立(東大) 田中秀幸(東大)

I-5 デジタルコンテンツ部会

「音楽ビジネスのヒット戦略ーFUNKY MONKY BABYSを事例に」加藤綾子(東大)

「コンテンツ産業の発展段階の視点から考察するCGMの産業組織」樺島榮一郎(東大)

「動画共有サイトにおけるユーザー参加型のオープン・クリエーションモデルーYouTubeとニコニコ動画の比較分析」○沖松健太郎(東大) 松本淳(東大)

I-6 電子自治体部会①

「地方自治体のWebサイトに見る外国人支援ー多文化共生とICT」○馬場眞知子(電通大) 福田豊(電通大)

「自治体広聴制度における web 利用の現状と課題」本田正美（東大）

「地方自治体におけるライフサイクルを考慮した情報システムの IT 投資効果モデル」吉田博一（摂南大）

I-7 地域コミュニティとメディア部会

「少子化社会における未来を育む社会作りと情報力」大江ひろ子（横国大）

「コミュニティ・チャンネルにおける広域化・ネットワーク化の可能性」内田康人（目白大）

「コミュニティ・メディアにおける担い手養成の現状と課題」牛山佳菜代（目白大）

■自由報告部会 II 9月14日（日）10:00～12:00

II-1 情報システム部会①

「批判的評価と秩序ある議論の両立を考慮した文献評価システムの設計」○岩井淳（群大）正木弘（群大）吉崎陽介（群大）

「テキスト編集に基づく音声文書の知的アーカイブ」○松原茂樹（名大）伊藤正詩（名大）大野誠寛（名大）

「ディスプレイ周辺部を利用した文書作成システムの提案」○定国伸吾（大同工大）茂登山清文（名大）

「オンラインショップにおける家電製品の環境情報表示の改善策に関する研究」○窪田収一（電通大）山本佳世子（電通大）

II-2 地域ネットコミュニティ部会①

「地域 SNS を活用した市民まちづくりの実証実験 - 「けいはんな」地区の知識社会型ソーシャルキャピタルを基盤として」○水野義之（京都女子大）西村一朗（平安女学院大）藤田忍（大阪市大）吉村輝彦（日本福祉大）

「地域 SNS におけるネットワークの遷移」○岡本健志（東大）中野邦彦（東大）田中秀幸（東大）

「電子デモクラシーと地域コミュニティツールに関する一考察」古坂正人（東大）

「関東地域の市民活動団体の IT 利用調査と Web ツール活用可能性の検討」○服部哲（神奈川工大）横井茂樹（名大）速水治夫（神奈川工大）

II-3 国際部会②

「Changes in the Labor Process in the Korean Independent Broadcasting Production Sector: Toward Flexible Production and Its Effects」CHANGWOOK KIM (Seoul National University)

「中国市場における日本の端末の普及可能性分析～携帯電話の開発と利用についての中日比較を中心～」○張文杰（電通大）福田豊（電通大）

「日韓モバイルペイメント普及過程の分析」趙章恩（東大）

II-4 法制度部会

「デジタル・ネットワーク環境下における著作権の在り方に関する考察」志鎌由佳里（東大）

「私的録音録画補償金制度に関する一考察」金野和弘（岡山学院大）

「匿名掲示板における管理者の法的責任 情報媒介者こそが生殺与奪の全権を握る」工藤浩（前橋工大）

II-5 企業コミュニケーション部会

「企業内 SNS 導入の有効性に関する研究」○加藤菜美絵（電通大）小川 祐樹（電通大）諏訪博彦（電通大）太田敏澄（電通大）

「コンジョイント分析による暗黙知伝播に関する実証研究」田村泰彦（群大）

「エスノグラフィックな観察による企業内会議の分析と改善」○原田裕明（富士通研）山田茂（富士通研）小幡明彦（富士通研）

II-6 電子コミュニティ部会

「オンラインコミュニティの協働促進的機能と匿名性」○永井睦美（電通大）福田豊（電通大）

「インターネットと社会関係資本」宮本瑛（東大）

「匿名性によるヴァーチャル・コミュニティの構造変容」森岡武史（北大）

「サイバースペースにおける倫理的可能性 - 新しい社会の漣繋を目指して -」○曾我千亜紀（愛知芸大）山田庸介（名大）井上寛雄（鈴鹿医療科

学大）清水高志（名大）米山優（名大）

II-7 情報生活部会

「情報環境に対応した情報関連 QOL 指標の開発 (改訂版)」○宮本 和明 (創価大) 坂部 創一 (創価大)
「地域情報化における楽しみと市民の主体性醸成に関する研究」○福田将哉 (電通大) 福田豊 (電通大)
「インターネット利用行動とパーソナル属性の関係」○藤原正弘 (KDDI 総研/東大) 木村忠正 (東大)
「ゲーム機器・情報機器の利用が家庭に及ぼす影響についての考察—小学生ならびに保護者への調査事例を中心に—」毛利康秀 (日大)

■自由報告部会 III 9月14日(日) 13:00~15:00**III-1 学習・教育部会**

「オンライン上の学習活動とその社会的可能性—CMS (P1one) を利用した事例から—」石田千晃 (一橋大)

「ICT 支援による教育コミュニティ形成に関する考察—教育コミュニティ形成のための学習システムに関する基礎研究—」○上杉啓恵 (電通大) 福田豊 (電通大)

「サイバー社会における学習支援環境の枠組み」渡邊豊英 (名大)

「CMS を活用した理科教育のための Web サイト「理科教材データベース」の運用」○松本早野香 (名大) 川上紳一 (岐阜大)

III-2 理論部会②

「社会情報の核心」○田中一 (北大名誉教授) 長田博泰 (札幌学院大)

「情報学諸理論のメタモデル化」○井上寛雄 (名古屋芸大) 清水高志 (名大) 米山優 (名大)

「「情報化のパラドックス」に関する—考察—情報経済社会における市場化とパーソナル化の盲点—」河又貴洋 (長崎県大シーボルト)

「「情報」の誕生と朝鮮半島への伝播」原田孟 (東大)

III-3 情報システム部会②

「法情報検索における情報探索モデル」○山内理嗣 (東工大) 往住彰文 (東工大)

「参院選における予測市場の実施とその有効性の検証」金澤圭吾 (ヤフー) 伊藤智基 (静岡大) 岸弘倫 (静岡大) 佐藤哲也 (静岡大)

「Comparison between Artificial Neural Network and Multiple Regression Method in Forecasting Exchange Rates of Indonesian Rupiah to United State Dollar」○Andri Qiantori (電通大) Sumarno Zain (パジャジャラン大) Kurniawan Saefullah (パジャジャラン大) Toshizumi Ohta (電通大) Hirohiko Suwa (電通大) Agung Budi Sutiono (電通大)

「株式指標とインターネット株式掲示板の投稿内容の関連性—投稿量によるリスクファクターの構築—」○橋口大右 (電通大) 梅原英一 (野村総研) 諏訪博彦 (電通大) 太田敏澄 (電通大)

III-4 電子自治体部会②

「西宮市における庁内業務の Web 化事例 (後期高齢者医療保険システム)」片貝孝夫 (片貝システム研究所)

「電子政府のサービス価値の評価モデル」後藤玲子 (茨城大)

「電子自治体における SOA 導入の課題と可能性」○林隆史 (会津大) 後藤玲子 (茨城大) 田中秀幸 (東大) 須藤修 (東大)

「自治体の情報セキュリティにおける成熟度モデル」○東川輝久 (撰南大) 久保貞也 (撰南大) 島田達巳 (撰南大)

■自由報告部会 IV 9月14日(日) 15:15~17:15**IV-1 地域情報システム部会**

「動画を用いた地域情報配信による中心商業地の活性化実験—総務省「戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE)」による取り組み—」○近藤真由 (名大) 安田孝美 (名大) 宇佐美理 (名大)

「地域情報における専門情報と草の根情報の融合によるコンテンツ開発の可能性について」○後藤昌人 (金城学院大) 近藤真由 (名大) 服部哲 (神奈川工大) 安田孝美 (名大) 横井茂樹 (名大)

「地域文化継承のための Web プラットフォーム」○吉田千穂 (名大) 安田孝美 (名大) 横井茂樹 (名大)

「地域社会活動記録のための地図モデル」○広部一弥 (名大) 渡邊豊英 (名大)

IV-2 情報システム部会③

「ソーシャルブックマークとブログの共リンク分析による有力ブロガー抽出」○仁藤 慎平（電通大/NTTサイバーソリューション研）藤村 考（電通大/NTTサイバーソリューション研）

「動的なトピック分類を用いた推薦アルゴリズムの提案」○小川祐樹（電通大）諏訪博彦（電通大）山本仁志（立正大）岡田勇（創価大）太田敏澄（電通大）

「番組実況コミュニティの特性を考慮したキーワード抽出手法」○山下一雄（静岡大）兼山元太（静岡大）佐藤哲也（静岡大）

「製品評価掲示板における関連表現に関する研究」○和田佳子（電通大）小川祐樹（電通大）諏訪博彦（電通大）太田敏澄（電通大）

IV-3 知識ネットワーク基盤構築部会

「プロジェクトマネジメントとワークスペースを結合したヴァーチャルチームマネジメント」Florin Perpelescu（名大）米山優（名大）

「食品製造業を中心とした Web-GIS によるゼロエミッション・ネットワークの構築」○張世峰（電通大）山本佳世子（電通大）和泉 潤（名古屋産大）

「メッセージング・ネットワークを用いた知識社会情報基盤構築」○村上誠（ソフトバンクテレコム）酒井琢夫（ソフトバンクテレコム）福原英之（ネットワンシステムズ）小瀬田勇（ネットワンシステムズ）藤田龍太郎（ネットワンシステムズ）川内見作（東大）高橋友一（会津大）衣川昌宏（Eyes JAPAN）宮崎敏明（会津大）齊藤梅朗（会津大）加羅淳（奈良工業高専）岩瀬次郎（会津大）林隆史（会津大）

IV-4 ICT 産業部会

「Knowledge-intensive Services (KIS) and R&D — Technological Innovation in Service Industry」木下裕美子（東大）

「情報サービス産業の事業モデルと経営成果に関する定量分析」廣松毅（東大）○坪根直毅（大和総研）小林稔（和光大）栗田学（大和総研）

「Standards as Strategic Advantage in ICT Competition」Steven Jarvis（東大）

IV-5 定性的情報行動部会

「フィールドワークツールとしての携帯電話向け場所ブックマークコミュニティの構築と実践」持木俊介（慶大）池田大造（NTTドコモ総研）

「若年層のモバイルデバイスを利用した自己呈示と社会環境の定性的調査」天笠邦一（慶大）

「エスノメソドロジーによるコミュニケーションの滞りの分析」○齋藤耕一（コウゲツ）櫻井成一朗（明治学院大）

「伝言板を通じた次世代コミュニティの可能性—下北沢南口におけるコミュニケーションツールの—」藤井裕之（慶大）天笠邦一（慶大）岡部大介（慶大）加藤文俊（慶大）

IV-6 ネットとジャーナリズム部会

「Web2.0時代におけるジャーナリズムの役割」山本悠（東京工科大）

「市民メディアの SWOT 分析 市民メディアのジャーナリズムとマネジメント—P J ニュースを事例に—」小田光康（東大）

「IT革命と報道、そしてCSR（企業の社会的責任）」古賀純一郎（共同通信社）

IV-7 地域ネットコミュニティ部会②

「地域ポータルサイトの構築・運営における課題に関する考察」平本一雄（武蔵工大）○上野亮（価値総合研）

「地域サイトのもつ地域連携機能について」河井孝仁（東海大）

「行政情報と民間情報の一体的発信の評価と発信主体の選択」○藤田昌弘（大手前大）有馬昌宏（兵庫県大）川向肇（兵庫県大）

☆ 第 10 回研究発表賞受賞者報告 ☆

＜日本社会情報学会(JSIS&JASI)合同研究発表大会研究発表＞

選考委員会委員長 島田 達巳
(学術委員会/表彰委員会)

20年9月12日-14日に行われた日本社会情報学会(JSIS&JASI)合同研究発表大会での一般研究報告のなかから、座長およびコメンテータの評価と大会参加者の投票にもとづき、下記に対して日本社会情報学会大会研究発表賞を授与することとし、理事会の承認を得ました。

その結果をご報告いたしますとともに、その栄誉をたたえ、研究発表論題をここに掲載いたします。

受賞者の方々には、次回日本社会情報学会(JSIS&JASI)合同研究発表大会におきまして、会長より賞状を授与いたします。

(敬称略)

☆ 発表表題	「地域 SNS におけるネットワークの遷移」
発表者	岡本健志 (東京大学)
☆ 発表表題	「日韓モバイルペイメント普及過程の分析」
発表者	趙 章恩 (東京大学)
☆ 発表表題	「Knowledge-intensive Services (KIS) and R&D -- Technological Innovation in Service Industry」
発表者	木下裕美子 (東京大学)

*受賞者の発表要旨は、「日本社会情報学会(JSIS&JASI)合同研究発表大会研究発表論文集」に掲載。

【日本社会情報学会 平成20年度学会賞】
＜平成20年9月13日 表彰＞

☆ 日本社会情報学会 平成20年度・社会情報システム貢献賞（団体）

日野市（代表 市長 馬場弘融）

[表彰事由]

貴団体は、副市長がCIOとなり、市民参画を基本的な考え方として、情報セキュリティ・マネジメントにも配慮しつつ、市民と一体となった行政サービスの提供のためにICTを利活用してきた。他団体に先駆けて、全税目のコンビニ収納に対応するとともに、クレジットカードによる収納も試験的に取り入れている。また、学校の授業改善等のためのICT教育の推進では定評があり、全国でもトップクラスとして他団体からも注目を浴びている。以上、貴団体の情報化計画による電子行政を推進した取り組みと社会情報システムへの貢献に対して深い敬意を表し、ここに日本社会情報学会・社会情報システム貢献賞（団体）を贈り表彰します。

☆ 日本社会情報学会・学位論文賞（博士論文・論文賞）

國上 真章（筑波大学）

論文標題

「社会と市場のマルチエージェント力学系による複雑性の研究」

[表彰事由]

本論文は、マルチエージェント力学系モデルによって、社会や市場の複雑な振る舞いの解明に取り組んでいるものである。エージェント間相互作用を市場モデルに適用し、「牧羊犬型の制御エージェント」の提案により、市場の複雑性逓減の可能性を示すとともに、社会ネットワークの構成エージェントが各々その社会ネットワークの内部モデルを持つと解釈しうる「二重ネットワークモデル」の提案により、物々交換社会における「原貨幣」の創発現象を説明している。本研究は、マルチエージェントアプローチが方法論として持つ特徴を十分に生かしている点や、新たなモデルを提案しているという点で独創性があり、高く評価された。

☆ 日本社会情報学会・学位論文賞（博士論文・論文奨励賞）

並木 志乃（東京大学）

論文標題

「地域コミュニケーションを円滑にする評価指標の開発と評価」

[表彰事由]

本論文は、地域情報化の議論が、情報という視点や地域経済振興に向けた地域開発政策から、地域再生を自律化するための在り方にその重点が移りつつある中で、地域住民が地域社会に対する自己評価を行うことができるよう評価指標を開発し、その評価を行っているものである。地域社会の構成員が自省的学習を通じて、地域コミュニケーションを円滑化し、その能力の向上を図るという視点からの地域情報化の評価指標の構築には独自性があり、研究の空白を埋める学際情報領域での挑戦的な論文である点や、丹念に事例研究を行い、実態に即した評価指標を開発しようとする試みが高く評価された。

松山 科子（東京工業大学）

論文標題

「エージェントベースシミュレーションによる個人間の情報流通の解析に関する研究」

[表彰事由]

本論文は、個人間の情報流通を解析する方法を、エージェントベースシミュレーション (ABS) を用いて提案するものである。人を主体とした情報流通の解析では、情報流通の行為は必ずしも相手の回数のみで決定されるものではないことを、また、コンテンツを主体とした情報流通の解析では、ハブとなりうるコンテンツの出現を見出すという新たな知見を得ている点に独自性がある。また、これらの解析では、フィールド調査結果や生のコミュニケーションデータによる検証を行うことでABS研究の在り方を示していることや社会情報学の分野に新たな方法論をもたらしているという点が高く評価された。

☆日本社会情報学会・学位論文賞 (修士論文・論文賞)

木下裕美子 (東京大学)

論文標題

「Three Transitional States and Innovation Policies: ICT, Nanotechnology and Biotechnology」

[表彰事由]

本論文は、今日の経済的発展の中心的な役割を担っているICT、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーという3つの技術分野における技術革新と経済成長の関係を、文献調査および統計分析に基づいて検証し、新しいイノベーションシステムモデルを提示したものである。技術イノベーションの発展モデルに新たなサイエンス領域を導入し、新たな視点で論考を行っている点に独創性があり、広範な関連分野における丹念な文献調査とデータの引用に基づいて、しっかりした理論構築を行った上で、統計分析によりモデルの検証を行っている点で、堅実さも十分備えており、高く評価された。

小川 祐樹

論文標題

「類似アイテムネットワークを用いた多様化推薦手法の提案と評価: Amazon.co.jpのアイテム評価情報を用いて」

[表彰事由]

本論文は、多くの商用サイトで用いられている推薦システムにおける「飽きの問題」に着目し、推薦に多様性を導入することによって、推薦に対するユーザ満足度を向上させるアルゴリズムを提案するとともに、実験的にその有用性を確認しているものである。従来の推薦システムに関する研究では、推薦が如何にユーザの嗜好に合っているかという推薦の正確さを推薦の有用性ととらえる研究が一般的であるが、本研究の推薦システムでは、このユーザの嗜好を正確にとらえるという観点に加えて、ユーザによる新たな価値の発見を促すという観点からの推薦システム開発を行っている点に独創性が認められ、社会的な意義も十分備えている点が高く評価された。

☆日本社会情報学会・秋山穰賞

國上 真章 (筑波大学)

[表彰事由]

平成20年度の博士論文において、大学院学位論文賞を受賞され、その内容及びその取り組み姿勢が卓越したものであり、今後の社会情報学進展へ大きく貢献するものと判断し、ここに秋山穰賞を贈り、表彰します。

第15回社会情報システム学シンポジウム(第116回定例研究会)
参加者募集

主催 社会情報システム学研究会
共催 経営情報学会 社会情報と情報ネットワーク研究部会
日本社会情報学会 環境・教育・GIS研究部会
電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーション

社会情報システム学研究会では、平成21年1月23日(金)に、第15回社会情報システム学シンポジウムを、経営情報学会「社会情報と情報ネットワーク」研究部会、日本社会情報学会「環境・教育・GIS」研究部会、電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集 (ISSN: 1882-9473) を発行いたします。

また、学術講演論文集に掲載された論文の抄録は、独立行政法人科学技術振興機構のデータベース JDream II の JSTPlus に収録されます。

ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、詳細は、<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/iss15th.html> をご覧ください。

日時：平成21年1月23日(金) 10:30~17:00

会場：電気通信大学情報システム学研究科棟 2F 233 (大会議室)、2F 215 (中会議室)

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1,

京王線：調布駅(北口)下車、徒歩9分、

大学ご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/map/comm.html>

キャンパスご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/map/campus.html>

プログラム：

10:30~12:00 一般セッション講演

12:00~13:00 休憩

13:00~15:30 一般セッション講演

16:00~17:00 特別講演 山本 修一郎 (㈱NTTデータ技術開発本部システム科学研究所長)
「知識コミュニケーションの展望 (仮題)」

懇親会：17:30~19:30 ハルモニア (大学会館3階, 学内)

参加費：JASI 会員は参加費無料、個人 3,000 円、登壇者 5,000 円、法人 10,000 円、懇親会費 5,000 円

※事前振込の場合、各 500 円引きとなります。

平成21年1月16日(金)までにお振り込みの上、受領証をお持ち下さい。

郵便振替口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局

研究会代表 太田敏澄 Fax&Tel: 042-443-5660 e-mail: ohta@is.uec.ac.jp

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻

社会情報システム学講座 [URL: http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/](http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/)

☆ 事務局だより ☆

* 会費納入のお願い

会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくごお願い申し上げます。

* 通信費削減への協力をお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて頂いておりましたが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。

ご承諾戴ける会員の方は、別紙「メール案内承諾書」にてご返信のほどお願い致します。

平成 17 年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週 2 日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp